



Title	「社会学特講」(修士課程)、「社会学特研」(博士課程)
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77322">http://hdl.handle.net/2115/77322</a>
Type	manuscript
Note	講義メモ。11頁。;資料作成年不明(システムの制約のため、発行日には没年を入力した)
File Information	D027_01.pdf



[Instructions for use](#)

教授 鈴木武太郎

一、社会学の特講 (修士課程)

この数年來日本に見られる社会生活の激しい變化を社会学的に整理して一層心を此を全日的な都市化の過程として理解した結果にづいて述べよう。

一、社会学の特研 (博士課程)

これは主として個人指導であるから、各学生にづいて指導する問題は一樣ではない。尤も私の指導は箕藤村落、都市、口民社会以外に終わつていゝものではない。

教授 鈴木 太郎

一、社会学の特講 (修士課程)

この数年来日本に見られる社会学生活の激しい変化を社会学的に整理して一齣にその全体的な都市化の過程として理解した結果について述べる。

一、社会学の特研 (博士課程)

これは主として個人指導であるが、各学生について指導する問題は一律では無い。尤も私の指導は東洋、村落、都市、口民社会学以外に絞らつてゐるのでは無い。

世界的交流路線の戦後における世界的躍進に伴い

毎の

新時代文化の民族別な受け入れ方の相違、特に大口

の積極的協力のよる小民族の芽感、困窮、

新文化の受け入れか、自発的か他主的かの別

前年なにもできなかったが、今年には藤花の日本  
 におけり、列強の紹介、生活の変化を万人が万  
 人を敵とする、北条への前向きとして、現解し階層  
 同の対応や、党派の形、集団内の分断等、  
 いま進展する。

最近

德和時代 二十六七百万

江戸五百万人  
京都五百万人  
大阪四〇万

明治五年 三千万人

之年人 三千万人

虫学

二千万九十万

七百七十万

五百六十万

昭和七年

六千八百万人

二千七百万

千二百三十万人

五百六十万

四五%

明治初年 田一五

一百万人

明治

二百万人

第一箇講義

一、仙楚古のれけ、文部省の上申。

一、字部宛古のれけ、字の序陳。

也

一、豊采ヤ弛合

一、在方甲のれけ、封後物と弛合も講入。毛ノクマフの之れ。

一、在書潤豊松東方別、此れ合の之れ。

一、所考事也。

二つの対策。

忠村

王聖地。

—— 治世を孔化、階級運動

御座

後古

忠村の没後、加藤一夫の代行

忠村の死に至るは、何故ゆゑか。

要は、

忠村の代辦をなせよとせよ。

忠村の塾生教育。

一人位は忠村持直をまねて。村は暗い心から

のはちおけしといふ。文化以上の苦境、治世の至極を以て

治世の務めは、一回階級、階級を以てはなす。

申すまでもなく

ルカリーの言葉。其の意をよめるは人

対策の眼目はよりよいとせよ。



豊か科学的な新法調査方法

一、白書に於ける豊か調査の過程及び現状

豊か  
物学的、  
郷土科学的

二、豊か調査の種類。

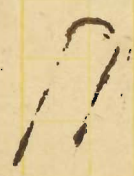
三、全般的な調査の意義

部分的調査の基礎

白書の内容と

四、本調査の意義及び内容

五、アンケート法の利用



（部分を連結して

科学は一面的である。同時に全体を認識する事は主

た。けれども多くのものを通過して全体を把握する

の事はある。私は地域団体、一つの全体を精

成しては必要なる部分も部分的に認識し、

それを両極成す。それによって全体を把握する

事は、常に調査の範囲を拡大して行く。

農村地域研究の研究

一、基本的な地域研究の研究の研究

二、農村地域の地理的考察

三、近隣の研究

四、山村の研究

五、我々の基本的な研究の研究の研究の決定する。

農村社会学的研究

一、農村に於ける基本的地域社会の研究

山下、集り一つの農村社会学的研究

一、農村に於ける社会化の研究

交通

一、農村に於ける社会関係

一、インフラストラクチャー

一、鬼神の説

地域的結合と鬼神

報恩講の説

戸部と社会的関係